

多職種訪問チームによる訪問診療で 在宅での看取りを支える



平成30年8月24日
飯山赤十字病院
古川賢一



平成23年8月空撮



2006年豪雪



飯山の伝統食

飯山市の無形民俗文化財



もう一つの伝統食



野沢菜漬 (本漬)

野沢菜漬 (浅漬)

私たちの北信医療圏



長野県の最北端、豪雪
と志賀高原・野沢温泉を
抱える、2市・1町・3村。

人口 約88,990人

診療所 42 病院 3

老健 3 特老 7

訪問看護ステーション 7

北信医療圏内の医療機関

飯山市：当院、診療所(12)

中野市：北信病院(350床 急性期・精・療)

佐藤病院(120床 精・療)

診療所(22)

山ノ内町：診療所(3)

木島平村：診療所(2)

野沢温泉村：診療所(2)

栄村：診療所(1)

当院の現況(1)

実行病床数 284床

急性期病床 60床、地域包括ケア病床 120床

回復期リハビリ病床 60床、

療養病床 44床

診療科目

内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、小児科、精神科、心療内科、神経内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科 計20科

当院の現況(2) 平成28年度

外来患者数 : 119,709人
一日平均外来患者数 : 493人
入院患者数 : 77,786人
一日平均入院患者数 : 179人
平均在院日数 : 13.3日(急性期)
年間手術件数 : 715件
職員数 : 412名(常勤 390、非常勤 22)
医師数(再掲) : 27名(常勤20、非常勤7)

私たちの訪問診療

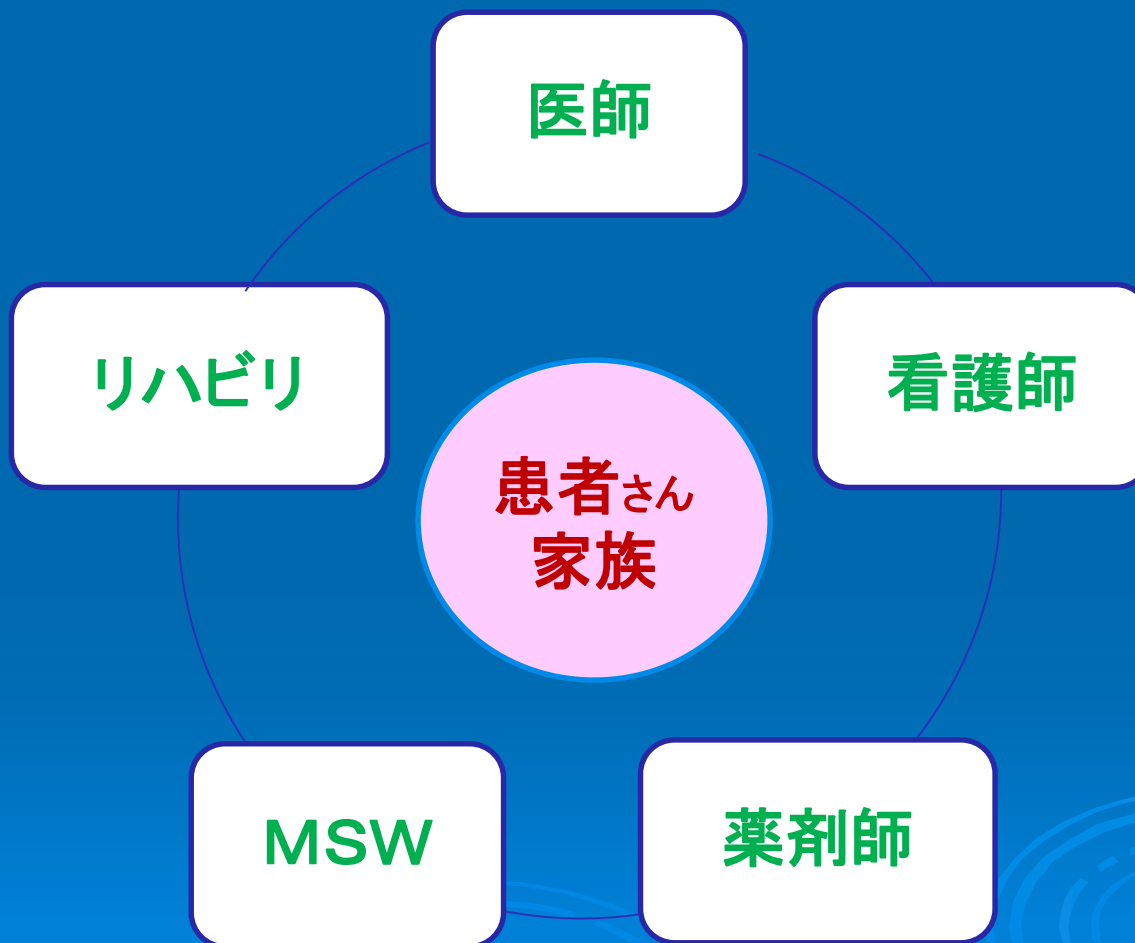
- 医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・MSWが「訪問チーム」を組み、ご自宅へ訪問診療します。
- 身体が不自由の方や病気の方が自宅で、その人らしく、安心して過ごされるように。そしてご家族の方が安心して介護できるようにチームみんなで支援します。

私たちの訪問チーム

医師	2名(兼務)
看護師	7名
理学療法士	2名(兼務)
作業療法士	1名(兼務)
薬剤師	2名(兼務)
医療ソーシャルワーカー(MSW)	3名(兼務)

* 皆**院内同一フロア**におり、各職種間、各外来・病棟との連携がスムーズです。

私たちの訪問チーム



私たちの訪問診療

- 対象は当院通院患者さん、当院退院患者さん、他院からの紹介患者さん。
- 訪問開始後は、すべて当院訪問医師が主治医となります。
- 訪問診察、訪問看護、訪問リハビリ、訪問薬剤指導をセットで提供します（訪問チーム）。
- 訪問診察、訪問看護は24時間、365日対応。

ケア・カンファレンス

毎週月曜日 15:00～17:00

その週に訪問する患者さんへの対応を話し合います。

出席者：医師、看護師、薬剤師、理学療法士、
作業療法士、当院通所リハ介護士、
院外のケアマネージャー、
院外事業所の介護士、ヘルパー

ケア・カンファレンス



毎週月曜日 15:00~17:00

朝のミニ・ケアカンファレンス

毎朝8時30分から約15分間

拘束の看護師からの報告

当日の訪問患者さんの確認、状態報告、話し合い

各職種当日の予定確認

お薬を処方する、検査を出す

その他情報交換

出席者：医師、看護師、薬剤師
理学療法士、作業療法士

朝のミニ・ケアカンファレンス



月～金曜日 8:30～8:45

私たちの訪問診察

- 訪問開始と同時に**主治医は訪問医師**となる。
- 24時間、365日。ターミナルケアにも対応。
- 訪問診察(原則月1~2回)には「**受け持ち看護師**」が同行。
- ショートステイ、デイサービス先にも訪問。
- ショートステイ、デイサービス中に状態変化あれば、主治医が対応。
- 必要があれば**元の主治医、院内専門医**がサポート。専門医の訪問も可能。

私たちの訪問看護

- 患者ごとの「受け持ち看護師」による受持制
- 訪問は「受け持ち看護師」が中心に交代で。
- 医師の訪問診察には原則として「受け持ち看護師」が同行。医師との情報共有を大切に。
- 拘束携帯で24時間、365日対応。
- 理学・作業療法士と一緒に訪問し、リハビリとの協力看護。
- 多職種チームなので看護に専念できる。

私たちの訪問リハビリ

- 週1～2回、一回40分前後
- 理学療法士と作業療法士がともに訪問する例も多い。
- ターミナルケアにも呼吸器リハなどのリハビリを取り入れている。
- 血圧測定、胸部の聴診等も行い、患者の状態を把握、報告する。
- 看護師とともに訪問し、看護との協カリハビリができる。

私たちの薬剤師訪問

- 患者さん、ご家族へのお薬の相談。
- お薬をどう飲んでいただくか指導します。
- 医師への処方依頼し、お薬を**宅配**。
- 薬剤の専門家として、主治医・看護師への**適切な助言**。
- お薬の**副作用をチェック**して予防する。
- 訪問中の患者さんの状態を報告する。

私たちの訪問診療の特徴 ①

- 訪問主治医を始めチームメンバーが同じフロアにいたので**職種間の連携が良く**、みんな同じ思いで訪問しています。
- 多職種による訪問チームなので**各職種が本来の仕事に専念**できます。
- 全職種が訪問時患者さんの状態を観察、報告するので 素早い対応が可能です。
- **ファーストコール**は拘束看護師が受けます。

私たちの訪問診療の特徴 ②

- 看護師と理学・作業療法士が一緒に訪問、より高度の看護、リハビリが可能です。
- 前主治医、院内専門医からの助言、協力が得られ、専門医による訪問も可能です。
- 急変時など**入院が必要の時は即入院**ができ、原則として元主治医が担当します。
- 介護者の過労、都合による**レスパイト入院**が可能(**地域包括ケア病棟 60日まで**)

私たちの訪問診療の特徴 ③

- ケア・カンファレンスに外部のケアマネジャー、介護士、ヘルパー等が積極的に参加、情報を共有し協力態勢ができています。
- 入院中から病棟での退院時指導、退院後計画作成に訪問チームが参加、協力。
- 訪問チームメンバーによる「介護教室」を開催。一貫した介護者指導をしている。
- 介護が不可能になれば、療養病棟へ。

訪問診療の実績

2000.10.1～2018.7.31

訪問患者総数：1,247名

死亡患者数：810名

内、在宅での死亡 352名(43.5%)

末期癌の患者数(再掲)：364名

内、在宅での死亡：177名(48.6%)

死亡非癌患者数(再掲)：446名

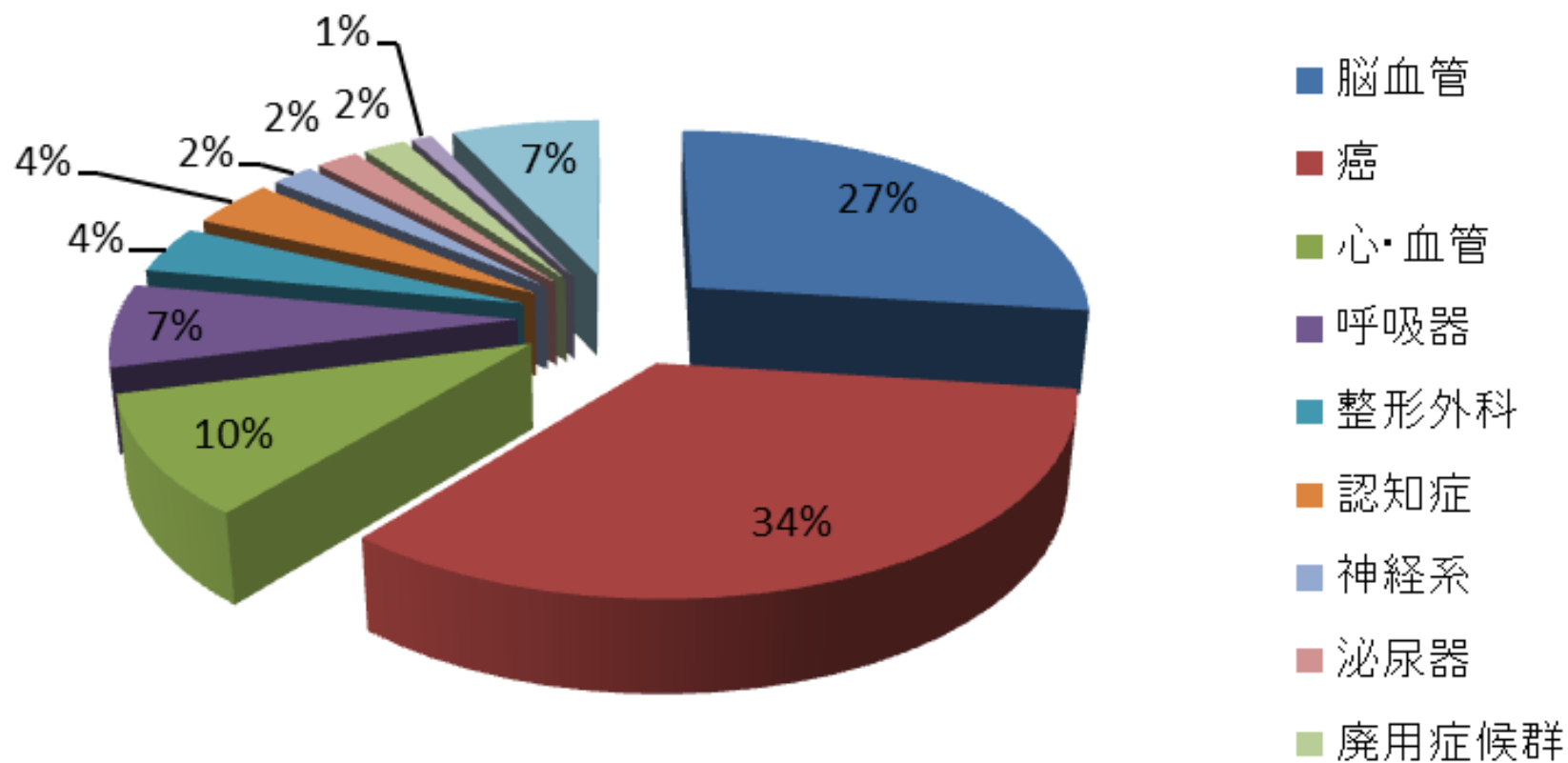
内、在宅での死亡：172名(38.6%)

2018年7月の訪問患者実数：90名

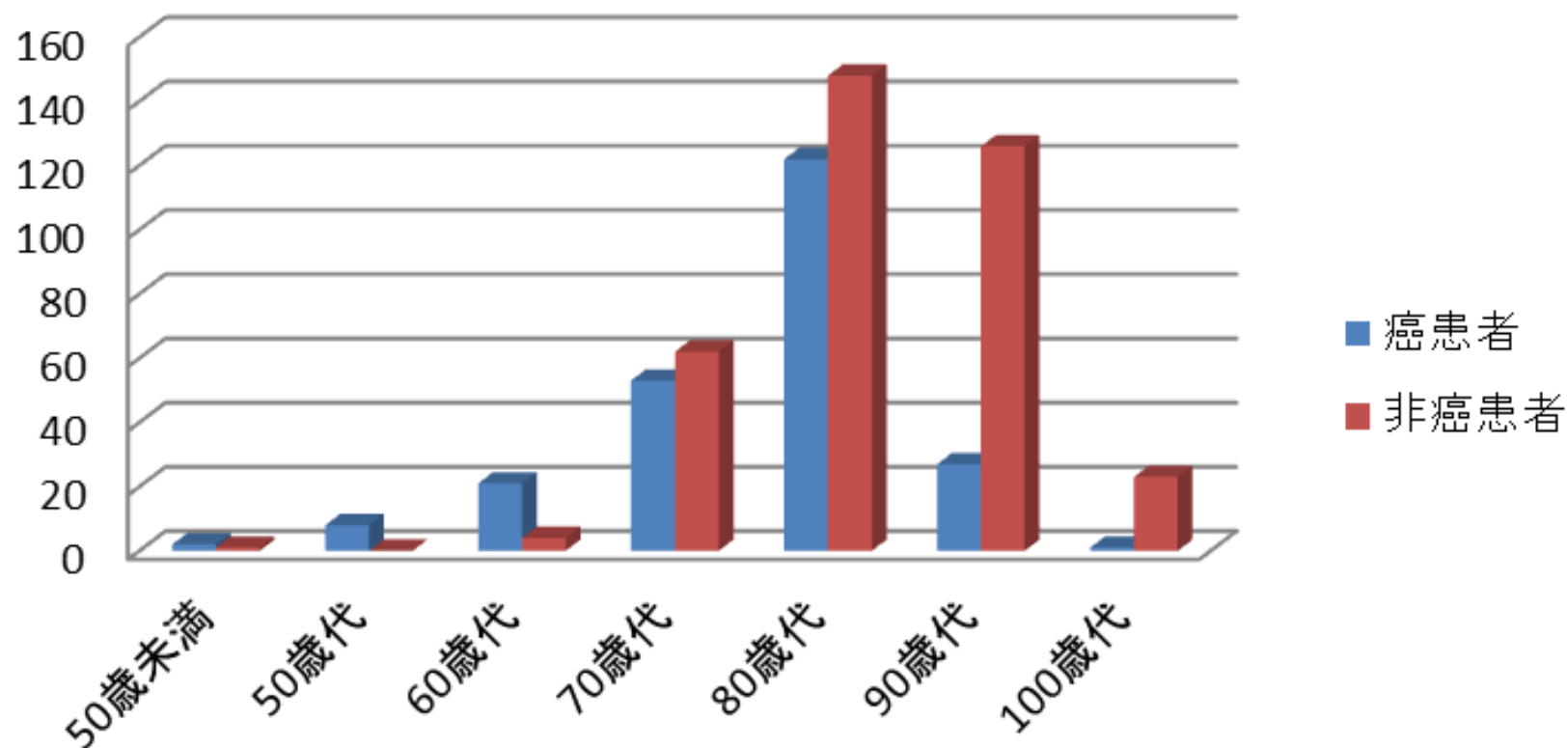
訪問看護 418回、訪問リハビリ 209回

薬剤師訪問 89回、訪問診察 91回

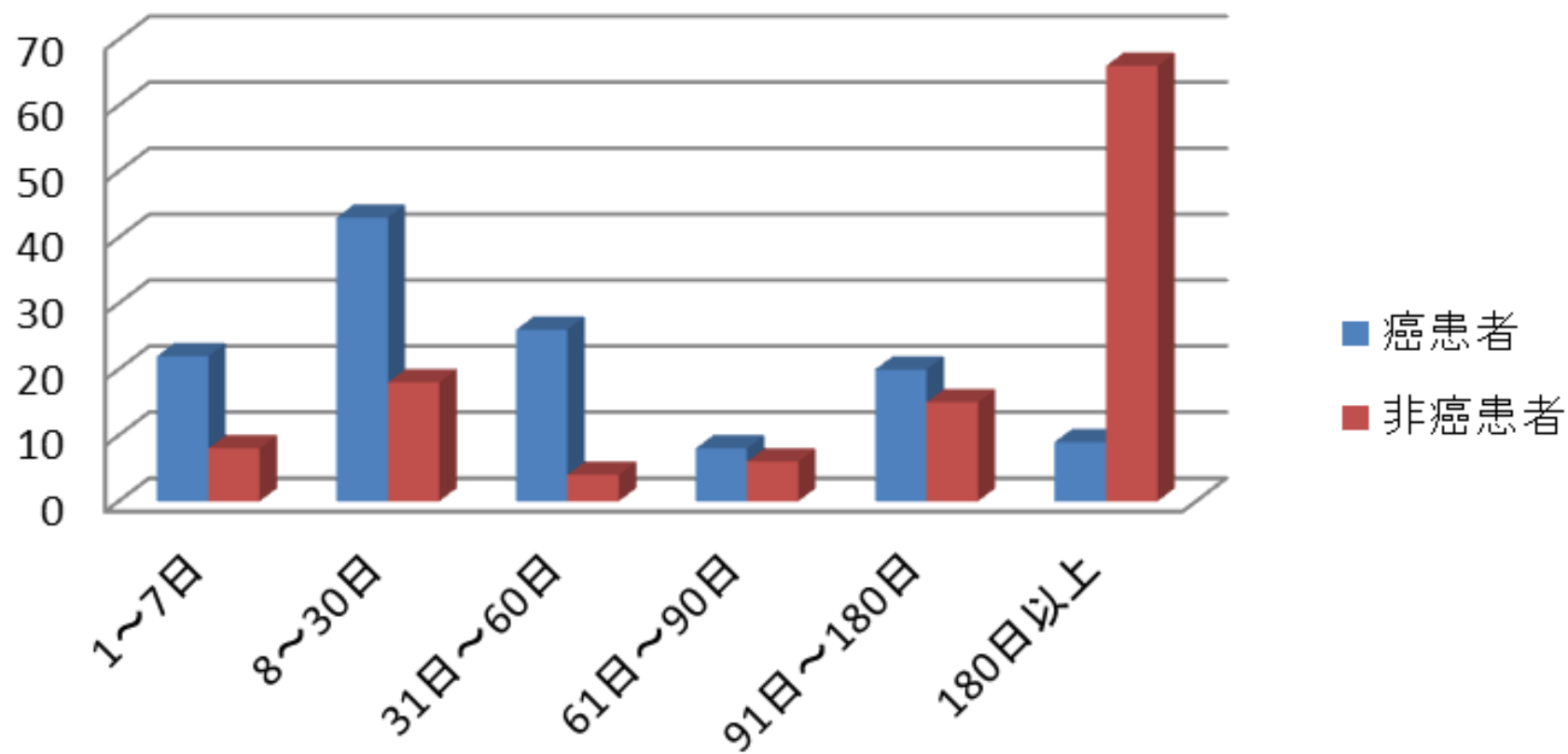
疾患別訪問患者



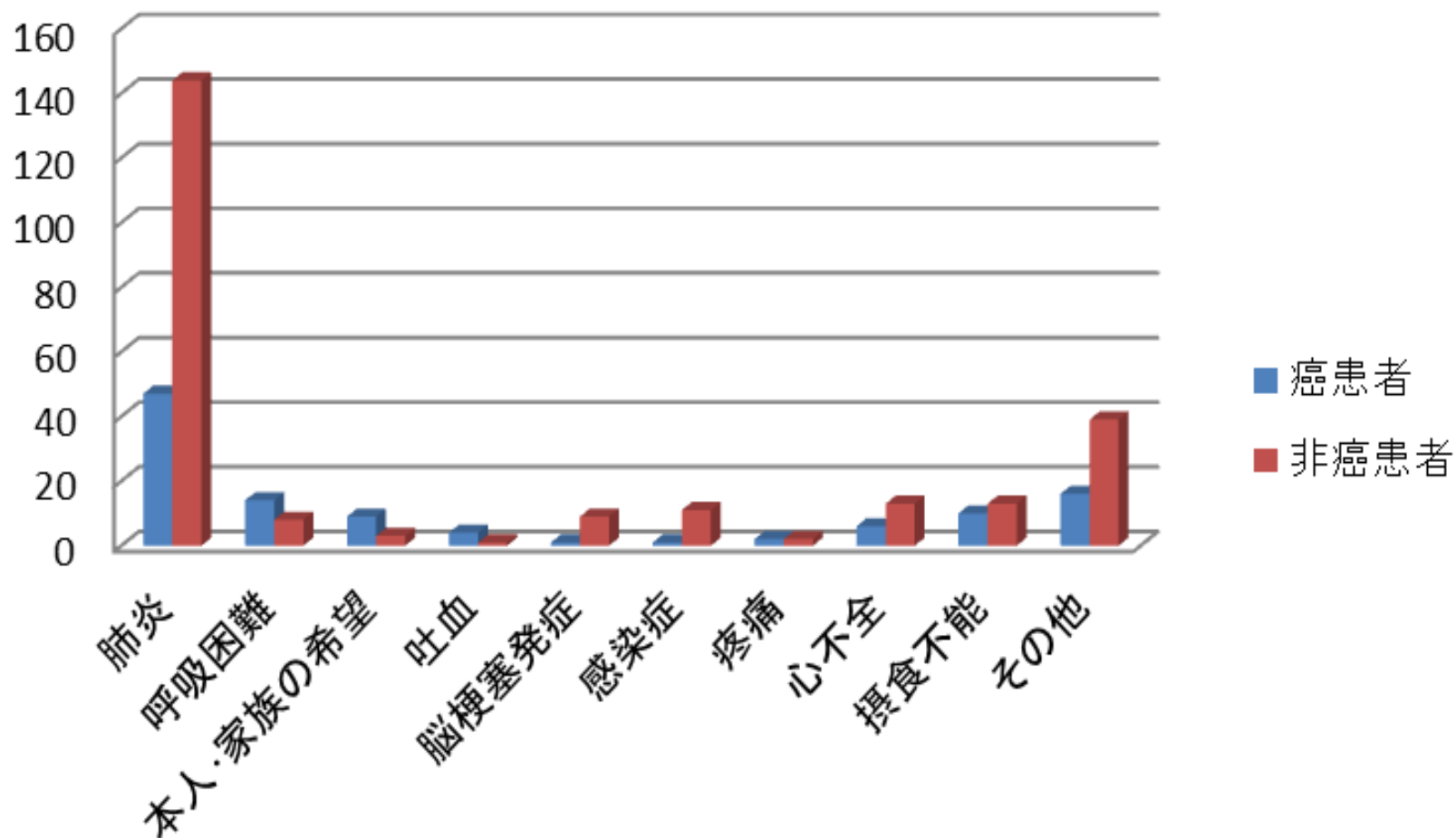
死亡患者の年齢構成



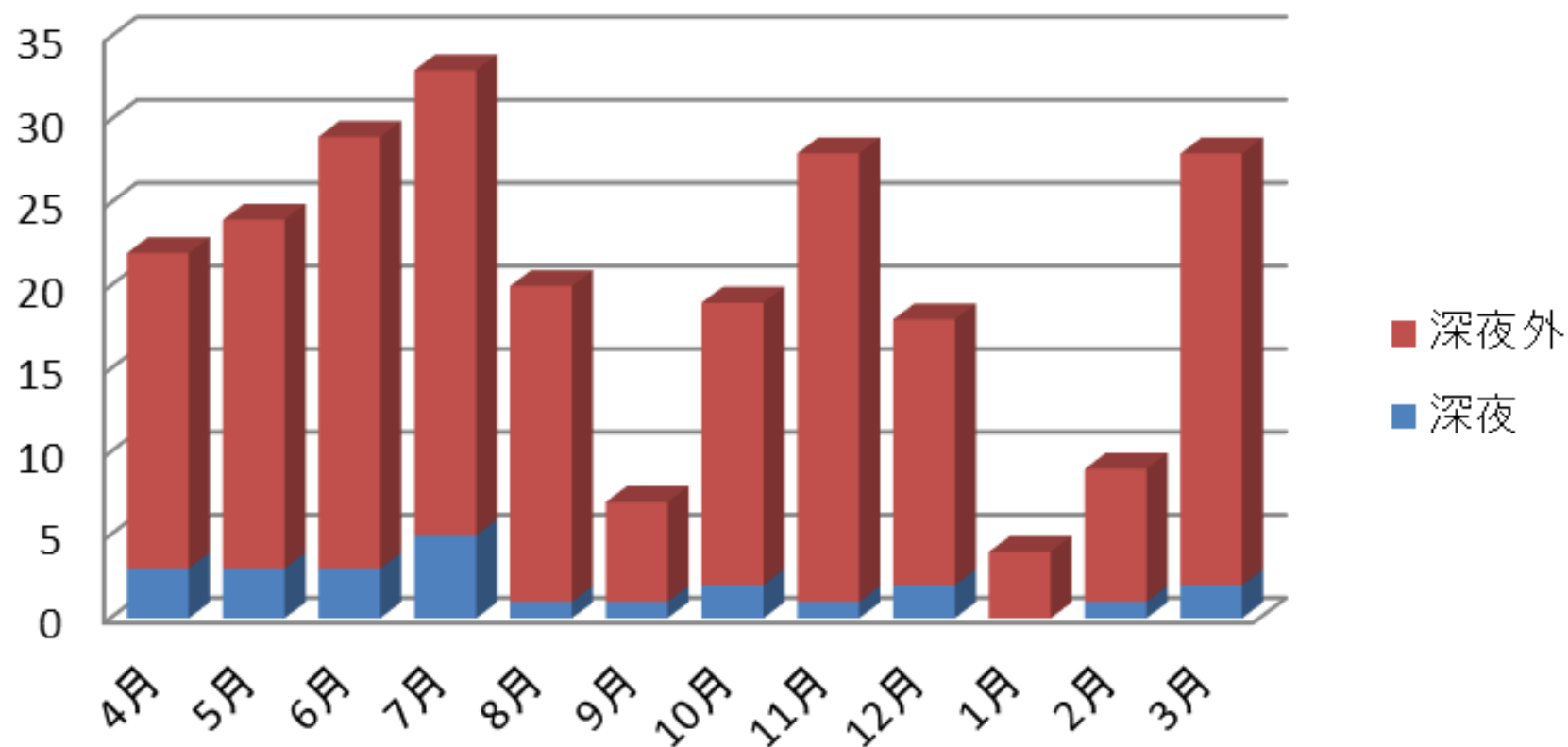
訪問期間



病院死亡例の入院理由



時間外緊急訪問看護(H29)



今後の課題

(1) 在宅死亡率をもっと向上させよう。

- * 口腔ケアを強化して肺炎を予防する。
- * 嚥下リハビリ、呼吸器リハビリの強化。
- * 介護者さんへのより多くの援助を。
- * 在宅での輸血については対応済み
- * 非癌患者のターミナルケア

(2) 患者さんの栄養状態の改善をめざして

- * 院内NST(栄養援助チーム)の在宅への導入
- * 栄養士による訪問栄養食事指導



安全標語

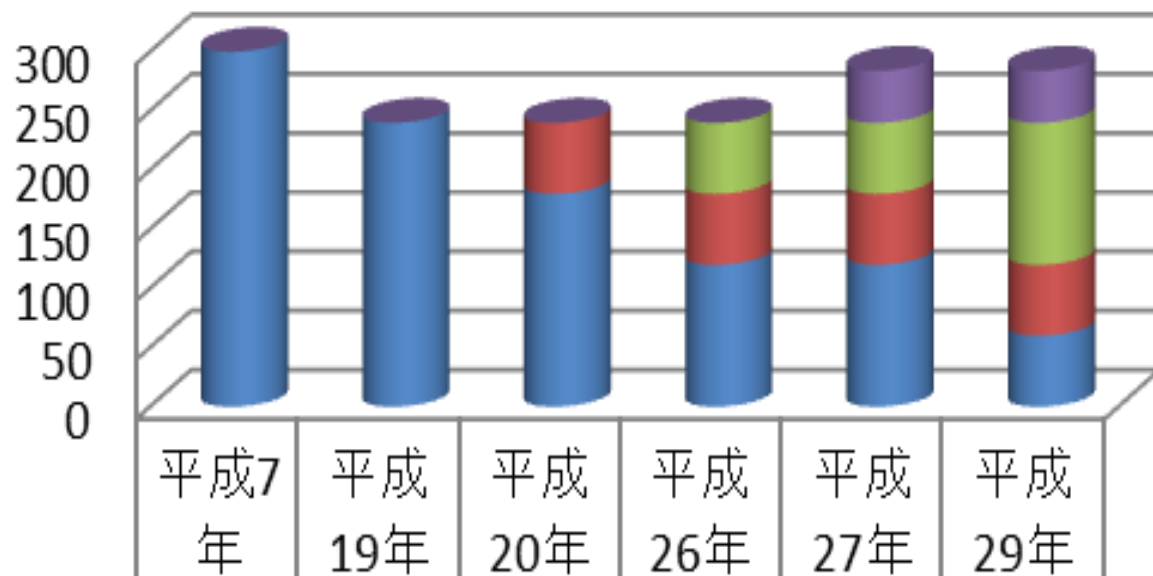
- 一、朝一番発音練習アニオアナ
- 二、不安なら右みえ左みえ友に問う
- 三、復唱確認 電話連絡間
- 四、説明はわかりやすい大きな声で
- 五、支え合ひみんなのワイヤセバ
- 六、急時安全通報 文通事故とかなほし
- 七、今日一日仕事も安全確認をいそいそ
- 八、宛先は念には念の再チェック

九、覚悟のために放棄は心休めさせず文しょう
十、個人情報保護は守るべき大義なり
十一、同姓同名しかり確認生年月日
十二、患者情報の開示は相手確認しこころを
十三、引き渡し入力誤りは絶対許さずのやめど



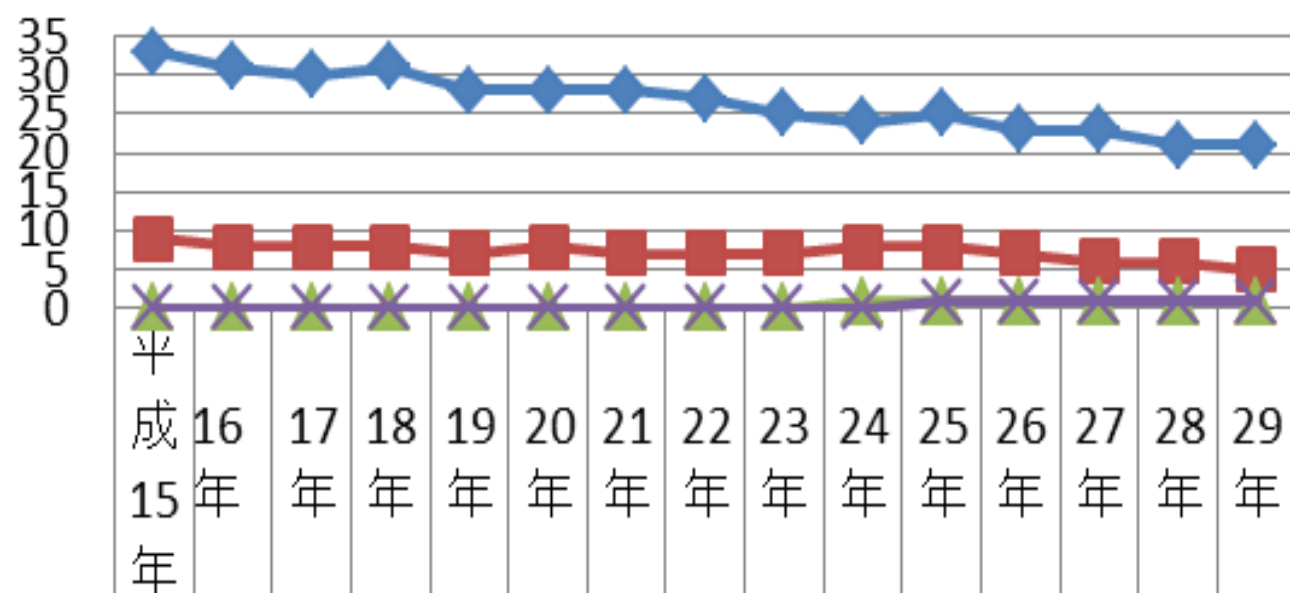
Three posters on the wall. The left one is titled '看護部基本理念' (Nursing Department Basic Philosophy). The middle one is titled '看護部基本方針' (Nursing Department Basic Policy). The right one is titled '看護部基本目標' (Nursing Department Basic Goals).

当院の病床編成



■ 療養病床	0	0	0	0	44	44
■ 地域包括ケア病床	0	0	0	60	60	120
■ 回復期リハビリ病床	0	0	60	60	60	60
■ 急性期病床(7対1)	300	240	180	120	120	60

当院の医師数の変化



全医師数	33	31	30	31	28	28	28	27	25	24	25	23	23	21	21
内科医師数	9	8	8	8	7	8	7	7	7	8	8	7	6	6	5
循環器医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
神経内科医師数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1



2013/05/10

ご静聴ありがとうございました。